

第28回ちびっこカップサッカー大会
兼 第7回とまこまい・あそび塾杯少年サッカー大会

兼 第16回岩内町長杯全道少年 U-10 サッカー南北海道大会 苫小牧地区予選

1. 主 催 苫小牧地区サッカー協会
2. 後 援 「総合型地域スポーツクラブ」一般社団法人 とまこまい・あそび塾
3. 主 管 苫小牧地区サッカー協会4種委員会
4. 協 賛 「総合型地域スポーツクラブ」一般社団法人 とまこまい・あそび塾
5. 期 日 5月18日(土)、19日(日)
6. 会 場 静内左岸緑地公園サッカー場
7. 参加資格

- (1)「参加チーム」は今年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)並びに苫小牧地区サッカー協会4種委員会に本年度加盟登録済みのチームであること。(準加盟チームを含む)。
- (2)「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
- (3)同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
- (4)第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。ただし前項3は適用される。
- (5)各チームの登録選手は、公益財団法人日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼り付けのないものは無効とする。(選手証とは、KICKOFFから出力した、選手証登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す)。
- (6)引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
- (7)参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (8)「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
- (9)上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (10)複数チームエントリーする際は、各チームに公認指導ライセンス保持指導者及び帯同審判員が必要である。また、引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。

8. 参加チーム

- (1)「参加チーム」の構成は、選手16名以内、引率指導者4名以内とする。

9. 大会形式

- (1)競技方法は次のとおりとする。
 - ①出場チームを7ブロック(1ブロック3及び4チーム)に分け、予選リーグを行う。
 - ②予選リーグ各ブロック上位1チーム、計7チームと、4チームブロック2位の1チームが決勝トーナメントへ進出する。
 - ③予選リーグにおける順位の方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - 【1】全試合の得失点差(総得点-総失点)
 - 【2】全試合の得点
 - 【3】当該チーム同士の対戦成績(勝敗)

- 【4】【1】～【3】の全項目において同一の場合は、PK方式（3人）にて勝者を決定する。
- ④本大会の上位3チームは、岩内町長杯全道少年サッカー岩内大会に進出する。

10. 競技規則

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
- (2) ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレイヤーがゴールキーパーに変わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

11. 競技のフィールド

- (1) フィールドの長さ（タッチライン）は60m、幅（ゴールライン）40mとする。
- (2) その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
- (3) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
- (4) 交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける（ハーフウェーを挟んで3mずつ）

12. 試合球

4号公認球を使用する。

13. 競技者の数および交代

- (1) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。その際は0-5の不戦敗とするが試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
- (2) 登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- (3) 交代の手続き
 - ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてよい。
 - ④交代について、主審・補助審判の承認を得る必要はない。
- (4) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。本大会において、退場させられた者は、次の1試合に出場できずそれ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。

14. 競技者の用具

- (1) 競技者の用具については、大会実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」および「ユニフォーム規定」に従うものとする。
- (2) 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (3) ユニフォームの広告表示については、（公財）日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
- (4) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを各試合に必ず携行すること（FP/GK用共）。
- (5) 審判（黒色）と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規定」を遵守すること。
- (6) シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号を付けること。

15. テクニカルエリア

- (1) テクニカルエリア（ベンチ）に入ることができる人数は、交代要員 8 名、引率指導者 4 名とする。
- (2) その都度ただ 1 人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

16. 審判員

主審、副審（2名）、予備審判の4名で運営する。

17. 試合時間

- (1) 試合時間は前、後半とも 12 分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は 3 分とする。
- (2) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は、いわゆる PK 方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、決勝・準決勝・代表決定戦では、前、後半 3 分ずつの延長戦を行い、なお決しないときは PK 方式で勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは 3 分、ペナルティーマークからのキックに入るまでのインターバルは 1 分とする。
- (3) 暑熱下において、前、後半中程に飲水タイムを採用する。

18. 警告・退場

- (1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (2) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会の異なる試合において警告を 2 度受けた競技者は、本大会の次の 1 試合に出場できない。
- (4) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は苫小牧地区サッカー協会第 4 種委員長が務める。委員については委員長が決定する。

19. 参加料

5000円

20. 組合せ

苫小牧地区サッカー協会第 4 種委員会代表者会議でおこなう

21. 帯同審判員

- (1) 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員を帯同させること。
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。

22. 開会式

開会式は行わない。

23. 閉会式

決勝戦終了後大会本部前にて行う。準決勝までに残ったチーム、フェニックストーナメント 1 位・フェニックスリーグ 1 位のチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。

24. その他

- ①大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
- ②試合開始 30 分前に本部にてメンバー表の提出とユニフォームチェックを行うこと。
- ③選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ）については、チーム責任とする。
- ④帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
- ⑤荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は苫小牧地区サッカー協会第 4 種委員会事業委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- ⑥優勝・準優勝・3 位チームは、2019 年 7 月 13 日～15 日に小樽地区（岩内）で開催され

る第16回岩内町長杯全道少年（U-10）サッカー岩内大会の参加を義務づける。

⑦監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した際は、主審の判断により退席処分とし、それ以降ベンチからのコーチングは不可とする。

24. フィールドの大きさ

